

令和3年6月10日 開会

令和3年 第2回 東松島市議会定例会

議員一般質問通告書

東松島市議会

《 議員一般質問 目次 》

順位	氏名	件名	頁
第1位	齋藤 徹	1 投票率向上へ向けた取り組みの加速を	3
		2 移住・定住者へ向けたサポートの拡充を	4
第2位	熊谷 昌崇	1 観光戦略について	5
第3位	五野井 敏夫	1 市長マニフェストの道の駅設置はいかに	6
		2 老朽化した本庁舎の建て替えをすべきと思うが、いかに	7
第4位	大橋 博之	1 今後の地区自治会制度について伺う	8
		2 起業・創業支援策の強化を図れ	9
第5位	滝 健一	1 案内標識について	10
第6位	石森 晃寿	1 企業誘致のための新たな工業団地整備について	11
		2 鳴瀬桜華小学校及び鳴瀬桜華小学校放課後児童クラブの駐車場について	12
		3 交通安全施設について	13
第7位	手代木 せつ子	1 震災から学ぶ防災教育を実践せよ	14
		2 通学路の安全対策を問う	15
第8位	千葉 修一	1 少子化問題にどう対応するのか	16
		2 道の駅構想について	17
第9位	阿部 としゑ	1 児童・生徒の安全を問う	18

順位	氏名	件名	頁
第10位	井出 方明	1 航空自衛隊松島基地との共存共栄について	19
		2 人口減少対策について	20
		3 心の復興について	21
第11位	長谷川 博	1 特別障害者手当の周知にもっと工夫を	22
第12位	浅野 直美	1 子育て環境の整備について伺う	23
		2 交通安全対策について問う	24
		3 女性の社会参画と本市の各種審議会委員等の登用について問う	25
第13位	阿部 秀太	1 農業施策について	26
		2 降雨災害対策について	27
第14位	櫻井 政文	1 本市の課題を問う	28、29
		2 教育の諸課題を問う	30

【質問者数 14人・質問件数 27件】

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>齋藤徹</p>	<p>1. 投票率向上へ向けた取り組みの加速を</p>	<p>令和3年4月25日に行われた東松島市議会議員一般選挙において、投票率は53.03パーセントであり、前回の平成29年に行われた同選挙の62.64パーセントから9.61ポイントの減となった。</p> <p>社会情勢やライフスタイルの変化等、様々な要因が考えられるが、今後も各選挙で投票率が低調になることが予想される。</p> <p>以上のことから、選挙管理委員会の所見を伺う。</p> <p>(1) 今回の選挙における投票率向上のための取り組みの成果は。</p> <p>(2) 今後、有権者の権利行使にかかる機運の醸成をどのように図るのか。</p> <p>(3) 運転免許証の自主返納等の理由により、交通手段の乏しい高齢者が今後増加すると思慮されるが、他自治体の例を参考に投票機会の確保のための移動期日前投票所の導入を図ってはどうか。</p> <p style="text-align: center;">【答弁を求める者 選挙管理委員会委員長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第1位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>2. 移住・定住者へ向けたサポートの拡充を</p>	<p>第2次総合計画後期基本計画の実現のためには、市内の人材育成は当然だが、市外からの移住・定住、Uターン人材の確保も重要である。</p> <p>今後のまちづくりを担う世代の確保が自治体間の競争を勝ち抜く原動力となることから、以下の点について問う。</p> <p>(1) 本市が、移住・定住、Uターン等の選択肢の上位に来るよう助成を拡充してはどうか。</p> <p>(2) 希望者には、一般社団法人東松島みらいとし機構が整備したHOPE Future Centerの利用権を一定期間付与し、異業種交流や人的交流の場として提供してはどうか。</p> <p>(3) ライフスタイルの多様化から空き家バンクをはじめとした用地等取得のサポート体制はどうなっているのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>熊谷 昌崇</p>	<p>1. 観光戦略について</p>	<p>今年、東京オリンピック・パラリンピックが開催される。本市では、松島基地にギリシャから聖火が到着し、オリンピックに華を添えるブルーインパルス所属基地でもあることから、東松島市を広く全国に知ってもらえるチャンスだと思料する。また、NHKの朝の連続テレビ小説「おかえりモネ」のロケ地が登米市と気仙沼市であることから、コロナ禍が収束すれば、全国から多数の観光客がロケ地や近隣の観光地を訪れると思料する。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 観光客の誘致戦略をどのように考えているのか。</p> <p>(2) ブルーインパルスや航空機のファンがこれからも多数訪れると思料する。航空自衛隊松島基地正門前の格納庫に近い堤防が撮影スポットの一つとなっているが、駐車場から県道へ接続する道路が狭いうえ、見通しが悪いことから交通事故の危険性が極めて高い。何らかの改善を行うべきと考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>1. 市長マニフェストの道の駅設置はいかに</p>	<p>道の駅は令和3年3月31日現在、全国で1,187か所あり交通網の安全確保、利便性休憩施設として24時間利用されている。また、設置地域の特性を活かした事業展開をし、地域振興の発信地としての役目を果たしている。本市においても、完成の暁には期待が大である。</p> <p>これまで道の駅構想について協議を重ねられていると思うが、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 関係機関との交渉の進捗状況</p> <p>(2) 今後の対応策はいかに</p> <p>(3) 開設に向けての財源確保はいかに</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>2. 老朽化した本庁舎の建て替えをすべきと思うが、いかに</p>	<p>本市の本庁舎は、昭和48年1月31日竣工し、同年2月11日に開庁したと聞き及ぶ。実に今日まで48年が経過した。この間、宮城県沖地震、宮城県北部連続地震そして東日本大震災の大地震に見舞われ、その間幾度の修繕工事、耐震化補強工事等を実施したことは周知の如くである。</p> <p>一方、市民の利便性を考えても、庁舎が複数に分かれていることに不便を来している。また、現在は、各種機器導入により狭隘化も進み、職員の就労環境面でも決して良好とは言えない。</p> <p>今後さらに予想される大地震が発生した場合でも司令塔としての災害対策本部機能を有し、市民が安心して頼ることができる安全な庁舎建設は避けて通れないものと考ええる。新庁舎の建設を前提とした検討委員会を立ち上げ、新庁舎建設に一步踏み込んではいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>大橋博之</p>	<p>1. 今後の地区自治会制度について伺う</p>	<p>住民自治の充実を目指し、行政区としての活動から自由度の大きい地区自治会制度へ移行し、5年が経過した。この体制は、3年ごとに見直すとのことであるが、どのように改善されているのか把握できない。また、市民の理解度も進んでいないのではないか。</p> <p>今後の地区自治会制度の充実を図るためにも、以下の点について市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 現在の地域まちづくり交付金制度の見直しについて</p> <p>(2) 自治協議会の活動目的の明確化</p> <p>(3) 自治協議会と指定管理者制度について</p> <p>(4) 今後の地区自治会が担うべき活動について</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第4位</p> <p>大橋博之</p>	<p>2. 起業・創業支援策の強化を図れ</p>	<p>働く場の創出のためには、企業誘致と起業・創業支援が重要である。特に、若い世代が自らの力で新しいビジネスを展開していくことは大きな意義があり、また、今後の東松島市を支えていく素晴らしい人材になり得るものと思慮する。</p> <p>そのような観点から、以下の点について市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 現在の本市の起業・創業支援策の評価はどうか。</p> <p>(2) 市商工会が実施している表彰制度について、市での導入も考えてみてはどうか。</p> <p>(3) 規模の大きい創業者だけでなく、小規模な取組への支援も必要と考えるがどうか。</p> <p>(4) 空き店舗の活用策をどのように考えているのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>滝 健 一</p>	<p>1.案内標識について</p>	<p>車で道路を走ると行き先を案内する標識が多数設置されている。この中には正確ではない表示がされているものも見受けられる。特に隣接市町の県道の東松島市への案内標識の中には、鳴瀬町とか矢本町など記されているものがある。</p> <p>その是正等に関し、次の点を伺う。</p> <p>(1) 正確でない表示の案内標識をどのように把握されているか。</p> <p>(2) 是正のための方策をどのように考えているのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第6位</p> <p>石 森</p> <p>晃 寿</p>	<p>1. 企業誘致のための新たな工業団地整備について</p>	<p>市長は、平成29年4月29日に就任してから、トップセールスによる企業誘致を進め、大倉工業(株)鳴瀬工場の増設、(株)サワ宮城工場の増設を始めとする実績を積み重ねてきた。今後、新たな企業を誘致する場合、誘致するための工業団地の整備が急務と考える。</p> <p>そこで、市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 新たな工業団地整備のための調査業務を考えているのか。</p> <p>(2) 調査業務終了後、どのような手法で工業団地を整備するのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第6位</p> <p>石 森 晃 寿</p>	<p>2. 鳴瀬桜華小学校及び鳴瀬桜華小学校放課後児童クラブの駐車場について</p>	<p>鳴瀬桜華小学校が開校し、入学式と運動会に出席したが、駐車場が手狭に感じた。本校は、緊急時の指定避難所になっている。また、鳴瀬桜華小学校放課後児童クラブの駐車場も同様に手狭である。早急に改善する必要があると思うが、市長は、どのように考えているか。</p> <p>(1) 整備した駐車場の駐車台数の根拠は。</p> <p>(2) 改善策を考えているのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長・市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第6位</p> <p>石 森 晃 寿</p>	<p>3. 交通安全施設について</p>	<p>東日本大震災から10年が経過し、ほとんどのハード事業は、完成したように思われる。一方で、道路パトロールをしてみると、カーブミラーの老朽化や停止線が消えかけている交差点が目立ち、いずれも交通事故の原因になると思われる。直ちに改善する必要があると思うが、市長は、どのように考えているのか。</p> <p>(1) 交通安全施設の安全点検を年にどのくらい行っているのか。</p> <p>(2) 交通安全施設の改善策をどのように考えているのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>1. 震災から学ぶ防災教育を実践せよ</p>	<p>東日本大震災から10年が経過した。振り返ると今回の震災では、死者1,110人という人的被害の中で、指定避難所以外の施設も避難所となり、多くの市民が救われたのも事実である。</p> <p>震災後の避難訓練では、とにかく大きな地震の後には津波が来ることを想定し、「津波てんでんこ」で高い所に逃げる訓練がなされてきた。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 震災時、野蒜地区の「佐藤山」が避難所として利用された。市の「佐藤山」についての認識は。</p> <p>(2) 月日とともに震災の記憶が薄らいでいく現状の中で、津波を知らない幼児や児童に、「佐藤山」での震災時の出来事をもとに作られた絵本や紙芝居、実際に現存する「佐藤山」を使った防災教育を考えてはどうか。</p> <p>(3) 「佐藤山」の所有者である佐藤善文氏は、公益財団法人社会貢献支援財団から平成24年度に「東日本大震災における貢献者表彰」を受けた。このことを市はどう受け止めているのか。</p> <p>(4) 東日本大震災から10年が経過したことから、心の復興の観点から、地域や人々のため尽力された方々を表彰してはどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第7位</p> <p>手 代 木 せ つ 子</p>	<p>2. 通学路の安全対策を問う</p>	<p>東日本大震災後、鳴瀬地区の小中学校は、昨年度完成した鳴瀬桜華小学校の新校舎を最後に、学校の統合、移転新設等、大きく変化した。</p> <p>鳴瀬桜華小学校では、災害用スクールバスが廃止され、牛網地区の児童が徒歩通学となり、2か月が経過したが、通学路の安全対策は万全か。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長・市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第8位</p> <p>千葉修一</p>	<p>1. 少子化問題にどう対応するのか</p>	<p>東松島市の令和2年度の新生児出生数は223人であり、平成22年度の368人と比べて約60パーセントに減少した。</p> <p>市長がマニフェストに掲げる「子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち」という目標達成のための子育て環境の充実及び地方創生の人口減少対策について伺う。</p> <p>(1) 多くの子供を産みたいと思う夫婦が望むときに出産できる環境を整備することで、少子化による人口減少に対応できると考えるが、そのための環境整備及び今後の計画等について伺う。</p> <p>(2) 出産後の育児については、身近に親戚がいないなどの理由で孤立してしまうことがあり、それが子供への虐待等につながる可能性もある。そこで、東松島市全体で子供たちを育てるという認識を市民が共有することにより、子育て世帯の孤立を防ぎ、「子育て」が「孤育て」とならないよう育児負担の軽減を図るべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 現在本市では、18歳までの医療費負担の軽減、夜8時までの延長保育が可能な民間保育園の誘致、夜7時まで預けられる放課後児童クラブの整備、待機児童対策も含め、安心して子供を預けながら働く環境づくりがなされているが、現状の運用及び利用状況の課題をどのようにとらえ、また、その課題解決に向けどのように対応するのか。</p> <p>(4) 少子化対策として、フランスのシラク元大統領が提言した「シラク三原則」の考えを日本にも導入してはと議論されている。仕事の有無に関わらず、託児ができるようにすることや育児休暇から復帰したらより高いポジションを提供することについて、導入する考えはあるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第8位</p> <p>千葉 修一</p>	<p>2. 道の駅構想について</p>	<p>市長のマニフェストには、道の駅構想が掲げられるが、本市に道の駅を整備するのにあたり、他の駅との差別化を図り、本市独自の施設を作る必要があると考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 大崎市の「あ・ら・伊達な道の駅」のように有名ブランド店が出店すると集客力が向上する傾向があるが、本市における「道の駅構想」において、そのようなテナントの誘致は検討しているのか。</p> <p>(2) 近隣の道の駅にはない施設があると集客力が向上すると考えられるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>阿部としゑ</p>	<p>1. 児童・生徒の安全を問う</p>	<p>先頃、白石第一小学校の校庭で防球ネットの木製支柱が折れ、児童2人が死傷した事故があった。子供を持つ親や我々県民・市民にとっても心配な出来事であった。</p> <p>県教育委員会は、県立学校と市町村教育委員会に対し、「みやぎ学校安全基本指針」などに基づく学校施設の安全点検を徹底するよう通知したとしている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 「みやぎ学校安全基本指針」の具体的な内容について</p> <p>(2) 本市の安全点検の結果とその後の対応について</p> <p>(3) 学校施設以外の公園等の点検も必要と思うが</p> <p>(4) 今後の定期点検等への取組、地域や関係機関との連携等を盛り込んだ本市独自のわかりやすい学校安全基本指針を検討する考えはあるか</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長・教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>井出方明</p>	<p>1. 航空自衛隊松島基地との共存共栄について</p>	<p>東松島市にとって航空自衛隊松島基地の存在は非常に影響力の大きなものである。</p> <p>基地の存在はメリットだけではなく、デメリットも有している。基地との共存共栄を進めていく上で次の3項目は重要なものである。現状を踏まえつつ、今後どのように共存共栄を図っていくつもりであるか伺う。</p> <p>(1) 松島基地の存在で次の2点について、現状と対策をどのように考えているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①航空機による騒音問題 ②航空機事故防止 <p>(2) 松島基地の存在による財政的収入について次の4点について、現状における問題点と今後の方針及び計画をどのように考えているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①歳入における交付金 ②防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律第3条及び第4条関連の助成金 ③同法8条関連の助成金 ④同法9条関連の交付金 <p>(3) 松島基地を観光資源として活用することについて、どのように考えているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①観光交流人口の動向 ②ブルーインパルス ③基地見学 <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>井出方明</p>	<p>2. 人口減少対策について</p>	<p>東松島市にとって人口減少は非常に大きな問題であり、現在から適切な対策を取らなければ今後大きな社会問題に発展していくものである。</p> <p>そこで、次の3項目について伺う。</p> <p>(1) 東松島市の人口動向（平成2年度から令和2年度まで）から推測される今後の問題点とその対策についてどのように考えているのか。</p> <p>①市民全体数 ②市内新生児数（出生人口） ③松島基地隊員数</p> <p>(2) 人口減少対策として、次の観点から現在行っている事項と今後計画している事項の問題点と対策について、どのように考えているのか。</p> <p>①少子化 ②過疎化 ③高齢化</p> <p>(3) 松島基地が以前のように隊員数が増えれば大きな改善となると考えるが、新たな部隊を誘致する考えはあるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第10位</p> <p>井 出 方 明</p>	<p>3.心の復興について</p>	<p>「心の復興・心のケア推進プロジェクト」の活動状況の現状における問題点と課題について、次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①被災者サポートセンターの運営 ②「心の復興」支援 ③魅力あるまちづくり、各種イベント等の開催 <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第11位</p> <p>長谷川博</p>	<p>1. 特別障害者手当の周知にもっと工夫を</p>	<p>先頃、私が購読する新聞に特別障害者手当の特集記事が掲載された。</p> <p>記事の大見出しは「要介護4、5でも可能性 特別障害者手当」。</p> <p>新聞によれば、特別障害者手当は「身体に著しく重い障害があり、日常生活に常時特別な介護が必要な20歳以上の人に月2万7,000円が支給される国の制度」としていた。</p> <p>また、「特別障害者手当の受給者は12万6,237人(昨年11月末現在)。一方で、介護保険の要介護4、5の人はその10倍を超える約142万人(1月末現在)、もっと多くの方が手当を受け取れる可能性がある。」ともしていた。</p> <p>後日、市の担当課で新聞記事を紹介して現状を尋ねると、手当は月額2万7,350円、3か月ごとの支給で令和3年5月の支給者は28人。いわゆる「障害者」のみが対象で、高齢者で要介護認定4、5の方はいないとのこと。</p> <p>一方で、「特別障害者手当」について市報3月15日号で市民に周知しているとするが、お知らせでは、「重度の身体障害を有し」などと記載され、障害者手帳の有無には触れていない。市のホームページも同様であり、分かりづらい。ここから、高齢者で「寝たきり」、「要介護認定4、5で常時介護」の方が申請・受給できる可能性を読み取ることは難しい。</p> <p>本市では、在宅で介護している要介護認定4、5の方が287人とされている。こうした方々が制度を利用して、基準に合致した場合は経済的負担軽減の一助となるよう、制度について分かりやすい周知の仕方を工夫し、徹底することが求められると考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第12位</p> <p>浅野直美</p>	<p>1. 子育て環境の整備について伺う</p>	<p>本市は県内の他の自治体と比べ母親の就労割合が高く、就労を希望している母親も多いことから、共働き世帯でも子育てがしやすいまちづくりを推進し、子育て環境を充実させることが非常に重要である。</p> <p>そこで、次の4点について伺う。</p> <p>(1) 放課後児童クラブの定員は、1児童クラブ当たりおおむね40人と定められているが、それを上回る利用施設がある。 施設の増設や環境整備が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(2) 松島基地の航空機の騒音があり、放課後児童クラブ施設にも防音工事が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(3) 放課後児童クラブは、幅広い学年の児童を保育することや定員に対しての実際の利用状況から、安全面において職員及び支援員の数に不安がある。 職員及び支援員の就労環境の改善も含め、業務委託先と協議すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(4) 本市の子育て支援センターは、人口規模に対し小規模である。本市の友好都市である山形県東根市の「さくらんぼタントクルセンター」のような施設があれば、子育て世代としても魅力を感じる。子育て支援施設の充実が必要と考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第12位</p> <p>浅野直美</p>	<p>2. 交通安全対策について問う</p>	<p>昨年、道路交通法が改正され、あおり運転の罰則や高齢ドライバーの運転技能検査が導入され、増え続ける交通事故や危険運転防止に向けた対応が更に重要視されている。</p> <p>市内では、昨年6月、小松地区の市道において普通乗用車と自転車が衝突し、自転車の男性が死亡する交通事故が発生した。</p> <p>そこで、次の2点について伺う。</p> <p>(1) 本市では、信号機の設置が必要と考えられる危険箇所を毎年確認し、信号機の新設を宮城県石巻警察署へ要望していると聞くが、警察署からはどのような回答を得ているのか伺う。</p> <p>(2) 市民の交通安全確保のため、横断歩道や自転車専用ブルーゾーン、スクールゾーン、前方に交差点有等の様々な注意喚起を促す道路標識の設置等も効果的と考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第12位</p> <p>浅野直美</p>	<p>3. 女性の社会参画と本市の各種審議会委員等の登用について問う</p>	<p>本市のSDGs未来都市計画では、「女性・高齢者の多様な人材の確保・育成に向けた支援を行うことにより、意欲的な人材の活躍の促進や生涯現役社会づくりを目指す」ことをゴールの一つに定めている。</p> <p>そこで、次の4点について伺う。</p> <p>(1) 本市の各種審議会の女性委員登用割合は、令和2年度で23.6パーセントであり、男女共同参画基本計画の当期目標値である35パーセントに届いていない。今後の登用方針及び女性の社会参画について伺う。</p> <p>(2) 本市の女性管理職の現状と今後の登用の方針について伺う。</p> <p>(3) 女性雇用率の上昇を図るべきと考える。東松島市商工会に対し、女性の創業支援対策等について、市から積極的な働きかけを行うべきと思うがいかがか。</p> <p>(4) 本市の女性活躍の場や研修の場となっている「婦人会」について、強化支援していくべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第13位</p> <p>阿部 秀太</p>	<p>1. 農業施策について</p>	<p>本市の農業は、重要な基幹産業の一つであり、市長のマニフェストにおいても、政策の筆頭に「基幹産業として農林水産業の活性化」を掲げている。</p> <p>また、本市は平成23年12月に「環境未来都市」の認定を受け、さらに平成30年には「SDGs未来都市」として選定された経過があるが、これらと整合性のとれた産業施策が必要と思われる。あわせてコロナ対策が喫緊の課題となっている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 平成18年に有機農業の推進に関する法律が制定され、有機農業の発展に向けて国及び地方公共団体の責務が明らかにされている。また、宮城県では本年3月に「みやぎの有機農業推進計画」を改定し、県内における有機農業の取組を拡大する方針を示した。本市の有機農業の取組状況と取組方針について伺う。</p> <p>(2) コロナ禍により米の消費が伸びず、今作の米価下落が確実視されている。米生産農家への影響をどのようにとらえているのか。また、その対策について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第13位</p> <p>阿部 秀太</p>	<p>2. 降雨災害対策について</p>	<p>近年、本市では市街地を中心に量販店等の進出及び住宅の建築などで、舗装面積が増大しているが、本市の雨水排水施設を見れば、昭和40年から50年代に整備されたものが少なくない。</p> <p>地面の吸水能力は低下している一方で、全国的に降雨災害が多発している現状から、現状に照らした備えが必要と考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 舗装等により変化する地面の吸水能力や、近年のゲリラ豪雨などの気象状況を踏まえた排水路の流量計算結果を公表するとともに、インフラの点検と整備を入念に行い降雨災害に備えてはいかかがか。</p> <p>(2) 地区自治会における土木担当は、地域の道路や排水路などの環境整備、維持のため重要な役割を担っており、そのためには相応の体系的な知識が必要と考える。については、土木担当に向けた研修会を開催し、雨水排水の理解を深めることにより、行政との相互協力関係を高めて、降雨災害に備えてはいかかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第14位</p> <p>櫻井政文</p>	<p>1. 本市の課題を問う</p>	<p>(1) デマンドタクシーについて 高年齢者が市外の病院に入院し、その配偶者が見舞いや届け物を届けようとしてらくらく号を利用しようとしても、運行範囲が市内に限定されているのでかなわない。 高年齢の女性は運転免許を持たない人も多く、年金暮らしの身では一般のタクシーを利用するには経済的に厳しいとの意見がある。病院に限っては、隣接市町でもデマンドタクシーの乗車を認めるという例外的な対応はとれないだろうか。</p> <p>(2) 観光政策について 「海のまち東松島」として海岸を観光資源として十分に活かす施策が求められていると考える。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>①矢本駅前の砂像見学に多くの人を訪れ、食事やお土産品の購入により駅前商店街が活況を呈している。砂像を活かした今後の観光振興についての考えはいかがか。</p> <p>②本市在住の砂像作家である保坂俊彦氏は、芸術振興にも抱負を抱いているようである。海をテーマにした観光に結び付く芸術振興についての考えがあれば伺う。</p> <p>③沿岸部に位置することを利用しての海水浴、潮干狩り、被災の歴史やイベント、食文化などの観光コンテンツの導入についての考えは。</p> <p>④野蒜海岸海水浴場のオープンに向けた進捗はどうか。また、コロナ禍でオープンは可能か。</p> <p>⑤旅行会社と東松島市観光物産協会との連携について</p> <p>(3) 市の広報について 自治体において地域住民に正しい情報を提供することや住民とのコミュニケーションを円滑にするという意味で広報の果たす役割は大きいものがある。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>①現在、市報は月2回発行されているが、発行回数を月1回に変更するという考えについて。</p>

氏 名	件 名	要 旨
		<p>②市報について、情報ページだけでなく、市の主張を伝えるような特集ページを毎回、一つや二つ盛り込んだらいかがか。</p> <p>③市報における動画の活用を促進すべきと考える。紙面にQRコードをつけてホームページやSNSに呼び込んだらどうか。</p> <p>④SNSは緊急時や災害時の情報発信に重要な役割を果たす。また、若い人は紙媒体よりもSNSを好む傾向がある。SNSであれば若い人が行政側に提案しやすい側面があると考え。広報におけるSNSのさらなる活用についての考えは。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第14位</p> <p>櫻井政文</p>	<p>2. 教育の諸課題を問う</p>	<p>(1) 東北大学教授で脳科学者の川島隆太氏は、音読は脳活動を活発にすると発言している。また、音読は読解力、発信力、表現力の向上をもたらすとも語っている。学力の基盤は読解力である。古典や郷土史を音読する時間を増やす考えはあるか。</p> <p>また、読書活動を盛んにしたり、作文時間を確保する施策について。</p> <p>(2) 2018年の学習指導要領で登場した「アクティブ・ラーニング」の教育現場での取り入れの状況と今後の活用について。</p> <p>(3) 子供の体力向上策について。</p> <p>(4) この度の赤井官衙（かんが）遺跡群の国史跡指定は市民にとって喜ばしいニュースである。そこで地域の先人が保存継承してきた有形、無形の歴史、伝統、文化遺産を今後、どのように守り活用していくのか、その施策を問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>